

令和 7 年度 授業改善推進プラン

< 第 6 学年 >

国語	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える力	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 71% </div> 【領域：読むこと】 (観点：知識・技能) 文章を読んで、内容の大筋を捉えるとともに、文章全体の構成や要旨を理解すること。	・文章を書く学習の導入では、題材に即して児童が具体的に考える活動を設定し、学習のめあてを明確にすることで、書く目的を意識しながら文章の構成を考えられるようにする。 ・文章を書き終えた後には、教科書の例文や構成を参照して振り返りを行い、互いの文章を読み合いながら構成や表現の工夫点を確認する。さらに、友達から助言を受けたり、アドバイスを与えたりする活動を通じて、多様な視点から改善点を見だし、自らの表現に生かすことができるようにする。
社会	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	・我が国の歴史と政治および国際理解に関する社会的事象の理解と各種資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能	【見方・考え方：事象や人々の相互関係】 (観点：思考・判断・表現) 資料に着目して、考察したことを事実と結びつけること。	・複数の資料を提示し、それらに関連付けて学習課題の解決を考える活動を設定する。まず個人で考えをまとめ、その後に意見を交流することで、多様な視点から資料を読み解く力を養う。さらに、再度自分の考えを見直す時間を設けることで、資料から得た内容を根拠として、事実と関連付けながら考察できるようにする。 ・児童一人一人に情報端末を活用させ、資料に基づいて調べたことや気付いたことをスクールタクト等にまとめ、共有する活動を取り入れる。これにより、児童が互いの考えを交流し合い、学習内容への理解をより深められるようにする。
算数	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	・数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察する力	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 72% </div> 【領域：データの活用】 (観点：思考・判断・表現) 必要な数値を読み取り条件に当てはまることを、言葉と数を用いて記述すること。	・領域を問わず、問題解決の過程で数量の意味を捉え、それを数直線や図を用いて説明する活動を積極的に取り入れる。これにより、数量の関係を正しく把握し、根拠をもって式を立てられるようにする。

令和7年度 授業改善推進プラン

<第6学年>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<ul style="list-style-type: none"> 問題についての予想や仮説をもち表現し、予想、仮説や結果から考察し、自分の考えを表現する力 	<p style="text-align: center;">本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 66%</p> <ul style="list-style-type: none"> 水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現する力 水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解する力 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然の事象や日常生活での体験、観察から、問題に対しての予想・仮説を表現すること 	<ul style="list-style-type: none"> 予想や仮説、実験の方法などについて自分の言葉で説明し、実験結果を整理して考察する活動を重視する。その際、ペアやグループでの対話的な活動を取り入れ、互いの考えを交流させる。 表やグラフにまとめて表現することで、結果を分かりやすく共有し、自分の考えを伝え合えるようにする。
音楽科	<ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 主体的に音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもったり演奏のよさを見いだしながら音楽を味わって聴いたりすることができる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けている児童とそうではない児童との差がある。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽表現を考えたり、表現したりすることは概ねできているが、主体的に表現しようとする姿がなかなか見られない。 	<ul style="list-style-type: none"> 器楽が苦手な児童が演奏法を習得できるように動画教材を用意したり、友達と練習したり、教員と練習したりすることができるようにする。 表現をすることの楽しさやよさを実感できるように、成長の変化を動画や録音で記録したり、発表の場を増やしたりする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> 色や形の違いを理解し、材料や用具を活用し、表し方を工夫して、創造的につくったり表したりする。 表したいことに向かって創造的に発想や構想を広げ、親しみのある美術作品などから自分の見方、感じ方を深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習の材料、用具の扱い方を定着させること。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料や用具、言葉、色等から創造的に発想や構想を広げられること。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用具や材料から想像を広げつくり出す喜びを味わい、主体的に取り組むことができること。 	<ul style="list-style-type: none"> 用具の扱い方を徹底し、表し方を工夫しながら前学年までの材料や用具の扱いについて経験や技能を総合的に生かし、技術の定着を図る。 さまざまな材料や用具を使いながら、感じ方や想像したことを基に、創造的に発想や構想を広げられるようにする。 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、形や色などに関わり、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

令和7年度 授業改善推進プラン

<第6学年>

家庭	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して生活をよりよくしようと工夫する力 	<ul style="list-style-type: none"> 衣食住などの実践的・体験的な活動から、家族や地域の人々と関わったり、よりよい家庭生活をするために工夫したりする態度 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中から問題を見出して、様々な解決方法を考えさせるとともに、学習した知識や技能をもとに、実践的な活動を家庭や地域などで行えるようにする。 「食生活」の内容では「食事の役割」「調理の基礎」「栄養を考えた食事」の3項目を関連付け、実際に給食の献立を立てるなどの実践を行う。
体育	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> 各種の運動の特性に応じた基本的な技能 	<ul style="list-style-type: none"> 体力調査では、全般的に全国平均を下回っている。 各運動経験が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用し、自分の動きとお手本の違いを確認し、体の使い方を様々な視点で考えながら運動技能を向上させる。
国際	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> 聞くこと、読むこと、話すこと書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度 	<p>【領域：聞くこと】 (観点：思考・判断・表現) 短い物語や人物のやり取りを聞いて話の概要を理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「聞くこと」の活動を行う際には、児童に何について聞き取ることが目的なのか明確に示し、目的意識をもって活動に取り組めるようにする。 単元の題材で使う単語を情報端末(メトロラーニング)で聞く機会を設定し、児童一人一人が自分に必要なだけ繰り返し聞くことができるようにすることで、英語を聞く力を高められるようにする。 聞き取った内容についてペアやグループで確認する時間を設けたり、聞いた内容についてのクイズを出したりすることで、児童がより意欲的に「聞くこと」の活動に取り組めるようにする。
道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的諸価値についての理解 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える力 	<p>【物事を多面的・多角的に考える】</p> <ul style="list-style-type: none"> 価値理解と同時に人間理解や他社理解を深め、さらに自分で考えを深め、判断し、表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするような充実した教材を活用する。 児童への「ゆさぶり」を積極的に取り入れ、自分事として捉え、話し合いが行える授業展開にしていく。

令和7年度 授業改善推進プラン

<第6学年>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度 ・主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当番活動や係活動、縦割り班活動を振り返る時間を確保する。 ・学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を積極的に取り入れる。 ・自主的に学習する場としての学校図書館等を活用させる時間を確保する。
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識及び技能 ・自ら問題を見だし、課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめ・表現する力 ・学習したことを、自分の将来に役立たせようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程で、情報を取捨選択・整理・分析すること。 ・調べた情報をまとめる際に、目的に合った表現方法を選択すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程で、情報を取捨選択・整理・分析すること。 ・調べた情報をまとめる際に、目的に合った表現方法を選択すること。